

江東区指定文化財紹介

きゅうおおいし け じゅうたく 旧大石家住宅

きゅうおおいし け じゅうたく
旧大石家住宅は、江東区で最も古い民家建築です。19世紀半ば頃に建てられたと推定され、
ひがしすな ちょうめ
もとは東砂8丁目にありました。たびかさ すいがい
度重なる水害に対する工夫として屋根裏が広く作られており、
しんすい じ ひなん ひ
浸水時にはそこに避難して、水が退くまでの間生活できるようになっています。平成6年3月に
ゆうけいぶん かざい けんぞうぶつ してい
有形文化財（建造物）に指定されるとともに解体調査が行われ、同8年に仙台堀川公園内の
げんざいち いちくふくげん
現在地に移築復元されました。

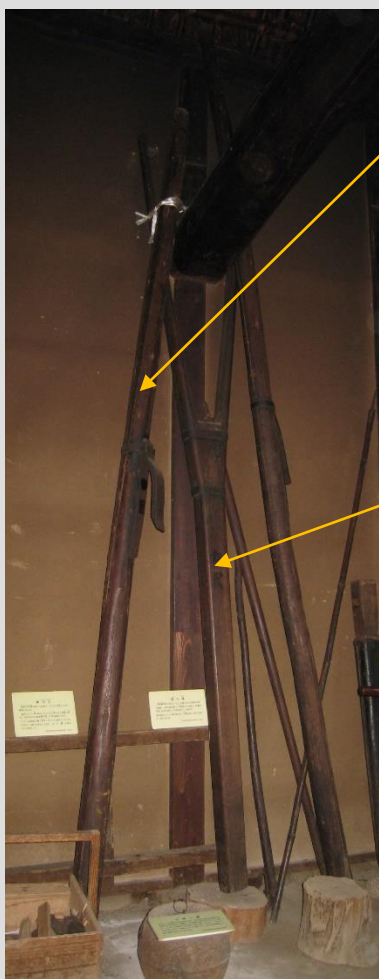




きゅうおおいし け じゅうたく
旧大石家住宅

おいしい け せいぎょう 大石家の生業

かつて旧大石家住宅が建っていた東砂8丁目のあたりは、江戸時代には八郎右衛門新田と呼ばれていました。大石家や周辺の家々は、畑作を中心とした農業と漁業を行う半農半漁の生活をしてきたと考えられます。大石家では、大正7・8年（1918・1919）頃から海苔の養殖を始めました。その道具は有形民俗文化財に登録されており、一部を旧大石家住宅で展示しています。



よこまんりき
横万力

ふ ぼう
振り棒



のりす
海苔簀（1枚）

※広げた状態



のりす
海苔簀

けんがく あんない 見学のご案内

きゅうおおいし け じゅうたく いっぱんこうかい
旧大石家住宅は一般公開しており、開館日には囲炉裏かいかんびに火を入れます。また、年中行事ねんちゅうぎょうじの
てんじ おこな
展示を行っています。令和6年4月27日（土）から5月6日（月・休）までは、五月飾りごがつかさを展
示する予定よていです。

旧大石家住宅ほぞんかつどうの保存活動には、区民ボランティア「旧大石家住宅友の会」が協力きょうりょくしていま
す。会員を随時募集ずいじぼしゅうしておりますので、詳しくは文化観光課文化財係くわ ぶんかかんこうかぶんかざいがかりまでお問い合わせくださ
い。

開館日：土曜日・日曜日・祝休日

※年末年始（12月27日～1月5日）は休館。

開館時間：午前10時～午後4時



昨年（令和5年）の五月飾り